

# SNS

～自覚を持たせるための情報モラル～

# トラブルを回避するために

## 12月16日、23日講座報告

- ・子どものSNS利用の現状
- ・家庭での指導方法（リスク見積もりを含む）
- ・家庭でのルールづくり、タイムマネジメント

講師：酒井郷平 静岡大学教育学部学術研究員

「スマホやネットの使いすぎ(依存)」の問題について研究

- ・メディアとの上手なつきあい方
- ・プログラミング的思考の育て方

講師：塩田真吾 静岡大学教育学部准教授

「SNS 東京ノート」の制作など、情報モラルの研究



※SNSとは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス  
または、ソーシャル・ネットワーキング・サイトのこと

### ～アンケートから～

- ・ SNSトラブルについて考えることができて良かった
- ・ 子どもたちの現状を鑑み、**どの様に子どもたちに伝えようと考えたらいいか**のヒントをもらった。
- ・ 基本、写真はアップしないのですが、気をつける点など気づきがありました。
- ・ カードを使ってゲーム感覚でおもしろかった
- ・ 日常生活に活かしていきたい、周りの人たちにも伝えたい
- ・ **気づいてないことがたくさん**あった
- ・ 実際にLINE の会社と行っていることだったので、**興味深く、実用的**でした。
- ・ 話が分かりやすく、どの世代、参加者にも理解しやすい話だった
- ・ **他人事ではなく、自分事として、子どもや親・先生に落としこむ教材に感動**しました。
- ・ このようなセミナーが学校など（道徳の授業）で行われると良いと思いました。
- ・ 子どもたちに**ゲームのルールを学校のタイムマネジメントの手法など具体的で実用的な**お話を聞くことができ大変良かったです。
- ・ 自分で考えて、その後グループで話し合うため、新たに気づくことができました。
- ・ **楽しく学べ、問題意識**を持てた。
- ・ とても分かりやすく説明してくださり、理解できました。

- 「ちょっと立ち止まって考える」ことの大切さが分かりました。
- 注意すべき点がわかった。
- 何が「あやしい」のか良く理解できました。
- 頭を使って、身体を使って身に付きました
- メディアの情報を受けて鵜呑みにせず、立ち止まって送り手の意図を考える。わかっていたようで、まだまだ洞察力が足りなかった、知らなかった、ということがたくさんありました。

